



## データベースの概要

添付文書に記載されている適応病名とそれに対応するレセプト病名を関連付けたデータベースです。

保険請求に関連したレセプト病名の検索や薬品との整合性チェックを行うことが可能です。

本データベースは、医療用医薬品の添付文書に記載されている全ての適応病名情報を網羅しており、下記参考情報のレセプト病名の改定（年2回）にも対応しています。

参考情報：傷病名マスター（診療報酬情報提供サービス）

ICD10対応標準病名マスター（一般財団法人 医療情報システム開発センター（MEDIS-DC））

※本データベースは参考情報であり、保険審査におけるレセプト病名の適否を保証するものではありません。

## データベースの特徴

### 同義語に対応

レセプト病名に複数の同義語がある場合、それらの同義語全てと適応病名を関連付けているため、検索やチェックを漏れなく行うことが可能です。

#### 例

『ヘプロニカート錠100mg「CH」』の「バージャー病」に対するレセプト病名として、「バージャー病」と同義語の「閉塞性血栓血管炎」の病名も関連付けています。

『ヘプロニカート錠100mg「CH」』の  
添付文書（抜粋）

#### 【効能・効果】

- ・レイノー病・**バージャー病**・閉塞性動脈硬化症などの末梢循環障害
- ・凍瘡・凍傷

『ヘプロニカート錠100mg「CH」』の  
データ（概略）

添付文書の適応病名	レセプト病名
バージャー病	<b>バージャー病</b>
	<b>閉塞性血栓血管炎</b> など

## 添付文書の適応病名に応じたレセプト病名の関連付けに対応

添付文書に記載されている適応病名に疾患や症状など複数の情報が含まれている場合、複数のレセプト病名の登録が必要になる場合があります。

適応病名とレセプト病名の組み合わせや関係性の情報（「レセプト病名を組み合わせる必要がある」など）を保持しており、より適切なレセプト病名を選択していただくことが可能です。

レセプト病名の登録漏れの注意喚起としてもご利用いただけます。

### 例

『ベシケア錠2.5mg』の「過活動膀胱における頻尿」について、レセプト病名として「過活動膀胱の頻尿」が存在しないため、疾患である「過活動膀胱」と症状の「頻尿」のグループに分け、それぞれにレセプト病名を関連付けています。

『ベシケア錠2.5mg』のデータ（概略）

「過活動膀胱」のグループ

レセプト病名

過活動膀胱

非神経因性過活動膀胱

『ベシケア錠2.5mg』の添付文書（抜粋）

【効能・効果】

過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

添付文書の適応病名

過活動膀胱の頻尿

組み合わせ対象

「頻尿」のグループ

レセプト病名

頻尿症

夜間頻尿症

レセプト病名選択時のチェック例

レセプト病名「過活動膀胱」と「頻尿症」

エラー表示なし

レセプト病名選択時のチェック例

レセプト病名「頻尿症」のみ

「過活動膀胱」グループに属する病名のエラー表示あり

## 例

『ブイフェンド錠50mg』の「カンジダ腹膜炎」について、レセプト病名として「カンジダ腹膜炎」が存在しないため、「カンジダ症」と「腹膜炎」のグループに分け、それぞれにレセプト病名を関連付けています。

『ブイフェンド錠50mg』の添付文書（抜粋）

<p>【効能・効果】</p> <p>下記の重症又は難治性真菌感染症</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 侵襲性アスペルギルス症、肺アスペルギローマ、慢性壊死性肺アスペルギルス症</li> <li>・ カンジダ血症、食道カンジダ症、<b>カンジダ腹膜炎</b>、気管支・肺カンジダ症</li> </ul> <p>（以下、省略）</p>
---

『ブイフェンド錠50mg』のデータ（概略）

「カンジダ症」のグループ
レセプト病名
<b>カンジダ症</b>
↑
組み合わせ対象
↓
「腹膜炎」のグループ
レセプト病名
<b>腹膜炎</b>

添付文書の適応病名

カンジダ腹膜炎

組み合わせ対象

レセプト病名選択時のチェック例

レセプト病名「カンジダ症」と「腹膜炎」
▼
エラー表示なし

レセプト病名選択時のチェック例

レセプト病名「腹膜炎」のみ
▼
「カンジダ症」グループに属する病名のエラー表示あり

## データベースの機能

### 的確な候補病名の表示やチェック

処方薬に対して候補となるレセプト病名を表示し、レセプト病名を登録する際に参考情報としてご利用いただけます。添付文書の適応病名とレセプト病名との整合性のチェックや、レセプト病名の登録漏れの注意喚起を行うことが可能です。

なお、本データベースでは、添付文書の適応病名とレセプト病名の関係性の情報を保持しているため、候補病名の絞り込みや範囲拡大など、状況に応じて情報表示の範囲を変えてご利用いただくことが可能です。

#### 例

『フルイトラン錠2mg』の添付文書の適応病名と、そのレセプト病名を表示します。

添付文書の適応病名と一致するレセプト病名（オレンジ色）のみに絞り込んでいただくことが可能です。

『フルイトラン錠2mg』の添付文書（抜粋）

#### 【効能・効果】

高血圧症（本態性、腎性等）、悪性高血圧、心性浮腫（うっ血性心不全）、腎性浮腫、肝性浮腫、月経前緊張症

『フルイトラン錠2mg』のデータ（概略）

添付文書の適応病名	レセプト病名
高血圧症	<b>高血圧症</b>
	二次性高血圧症 など
本態性高血圧症	<b>本態性高血圧症</b>
	妊娠・分娩・産褥の既存の本態性高血圧症 など
腎性高血圧症	<b>腎性高血圧症</b>
	腎実質性高血圧症 など
悪性高血圧	<b>悪性高血圧症</b>
心性浮腫	<b>心臓性浮腫</b>
うっ血性心不全	<b>うっ血性心不全</b>
	慢性うっ血性心不全 など
腎性浮腫	<b>腎性浮腫</b>
肝性浮腫	<b>肝性浮腫</b>
月経前緊張症	<b>月経前症候群</b>
	月経前浮腫 など

### 保険請求対象外の適応病名の判別

薬価基準未収載品の適応病名に対するレセプト病名や、薬価基準収載品であっても保険請求対象外である適応病名がある場合、保険請求対象外の判別を行うことができるため、レセプト病名を登録する際の参考情報としてご利用いただくことが可能です。

#### 例

『プロペシア錠0.2mg』は薬価基準未収載品ですが、適応病名とレセプト病名を関連付けています。

『プロペシア錠0.2mg』の添付文書（抜粋）

#### 【効能・効果】

**男性における男性型脱毛症の進行遅延**

『プロペシア錠0.2mg』のデータ（概略）

添付文書の適応病名	レセプト病名	保険*
男性における男性型脱毛症の進行遅延	<b>男性型脱毛症</b>	×
	薬物誘発性男性ホルモン性脱毛症	×

\* ○：保険請求対象、×：保険請求対象外

**例**

『ヒアレインミニ点眼液0.1%』の「シェーグレン症候群の角結膜上皮障害」は保険請求可能な適応病名ですが、「眼球乾燥症候群の角結膜上皮障害」は保険請求対象外の適応病名です。

『ヒアレインミニ点眼液0.1%』の添付文書 (抜粋)

**【効能・効果】**  
 下記疾患に伴う角結膜上皮障害  
 ・ **シェーグレン症候群、スティーブンス・ジョンソン症候群、眼球乾燥症候群** (ドライアイ) 等の内因性疾患  
 ・ 術後、薬剤性、外傷、コンタクトレンズ着用等による外因性疾患  
**【保険給付上の注意】**  
 ヒアレインミニ点眼液0.1%、ヒアレインミニ点眼液0.3%は、シェーグレン症候群又はスティーブンス・ジョンソン症候群に伴う角結膜上皮障害の患者に使用した場合に限り算定するものであること。

『ヒアレインミニ点眼液0.1%』のデータ (概略)

添付文書の適応病名	レセプト病名	保険*1
シェーグレン症候群の角結膜上皮障害	<b>シェーグレン症候群</b>	○
	一次性シェーグレン症候群 など	○
	乾性角結膜炎*2	○
スティーブンス・ジョンソン症候群の角結膜上皮障害	<b>スティーブンス・ジョンソン症候群</b>	○
	角結膜びらん など	○
眼球乾燥症候群の角結膜上皮障害	<b>ドライアイ</b>	×
	涙液分泌不全	×
	乾性角結膜炎*2	×

\*1 ○：保険請求対象、×：保険請求対象外  
 \*2 「乾性角結膜炎」は「ドライアイ」と組み合わせる場合は保険請求対象外

**レセプト病名からの薬品検索**

任意のレセプト病名をもつ薬品を検索することが可能です。

**例**

レセプト病名

本態性高血圧症

データ (概略)

レセプト病名	添付文書の適応病名
<b>本態性高血圧症</b>	<b>本態性高血圧症</b>
	本態性高血圧症<軽症~中等症>
	高血圧症

『アルダクトンA錠2.5mg』の添付文書 (抜粋)

**【効能・効果】**  
**高血圧症 (本態性、腎性等)**  
 心性浮腫 (うっ血性心不全)、腎性浮腫、肝性浮腫、特異性浮腫、悪性腫瘍に伴う浮腫及び腹水、栄養失調性浮腫  
 原発性アルドステロン症の診断及び症状の改善

